



みんなで楽しんだ

泥遊びもできて楽しかった!

みつけた!

たくさん思い出

泥だらけだよ!

よーし! これから見つけるぞ!

あれえ〜どこにいるのかなあ...

じゃーん! マジャクいっぱいいたよ!

海の恵みを満喫! マジャク釣り大会

「干潟の泥をクワで掻いて、出てきた巣穴にじわーっと筆を入れる。筆の柄が動いたら筆先が見えるまで上げて、筆先にマジャクの爪が見えたら、爪と筆先を握って一気に引き上げる!」そう臨場感たっぷりに話すのは、荒尾漁業協同組合の組合員でマジャク釣りのインストラクターを務める土井さんです。レクチャーしてくれたのは、巣穴に入ってくる異物を外に押し出そうとするマジャクの習性を利用したマジャク釣りの手法。書道用の

大筆を使って行う、全国的にも珍しいマジャク釣りは、荒尾の伝統漁法のひとつです。

今年20周年を迎えた「マジャク釣り大会」。開催のきっかけは、その年のあさがり(不作だったことからマジャク釣りで海に親しんでもらおうと地元漁師さんたちが考案したとか。「最初は難しく感じますが、コツを掴めば、誰でも楽しめますよ」と話す土井さんは、約10年前にマジャク釣りを体験し、改めて海の豊かさを実感。現在はマジャク釣りを通じて荒尾の海の大切さを発信しています。「豊かな海は荒尾の誇り。子どもたちに海は楽しい場所と思ってもらえたらうれしいです。海を思い切り満喫してほしいですね」と話します。

20年続く大会は、「宝の海」と謳われた荒尾の海を想う人々の努力と行動の賜物です。マジャク釣り大会で見た、たくさん笑顔。これからも見続けられるよう、この地に住むみんなでこの海を守っていきましょう。



荒尾漁業協同組合
どい かずこ
土井 和子さん